

## 視聴覚教育

NO 166

発行日  
2. 10. 8発行  
岡崎市AVL編集  
広報委員会

## コンピュータ教育研究会

## 近づく

岡崎市立美川中学校

昭和六十三年十一月、パソコン二十三台とLANシステムを備えた、岡崎市で初めてのパソコン教室が美川中学校に設置された。これを機会に美川中ではコンピュータ教育の研究実践に取り組み始めた。

情報化社会をむかえ、二十一世紀に生きる子どもたちは、いわゆる情報処理能力を身につける必要がある。新教育課程においても情報処理能力並びにコンピュータ活用能力と態度の育成に意が払われている。

美川中では、次の研究テーマを設定し、研究を重ねた。

## 『情報化社会に生きる生徒の育成』

—コンピュータ利用による個を生かす学習指導—

そこでは、次のような生徒像を願っている。

- 情報を的確に処理できる生徒
- 情報手段（コンピュータ）を利用して

自ら学ぶ生徒の育成

学校教育にコンピュータを取り込むには、

① コンピュータそのものが学習内容である

② コンピュータを教具として学習の深化のために使うの二通りの考えられる。

美川中では、まず「コンピュータを知り、操作に慣れる」ために、ゆとりの時間に「パソコンタイム」をもうけ、学級担任によるコンピュータリテラシーの育成を図っている。

そして、コンピュータの教具としての特性を利用し、個を生かした授業実践に全教科で取り組んできた。パソコン教室で二人一台のパソコンを使った授業、特別教室へ数台のパソコンを持ち込んで、情報を必要とする生徒がパソコンを利用する授業で実践された。

それとともに、既製ソフトの検討と授業者の意図にそったソフト開発がなされてきた。そして、スクールエースIIによるソフト開発を重ねるうちに、ソフトを開発できる教師も増えてきた。

パソコンに触ったこともない教師がほとんどという状態からスタートした二年間の研究の積み重ねである。研究発表会に参加して、パソコンに対する認識を新たにしよう。

日時 平成二年十月三十日(火)

午後十二時三十分より

場所 岡崎市立美川中学校

公開授業 理科・社会・英語・数学・技術・特殊

講演 今榮 國晴 先生

「学校教育におけるコンピュータ利用の問題点」

八田敏公先生(連尺小)内田義和先生(新香山中)

両教諭が県教研へ — 視聴覚部会 —

去る十八日、井田小学校で開催された第40次教育研究集会岡崎集会視聴覚部会は、三十余名の会員が日頃の実践記録を持ちより、活発な討論が展開された。

視聴覚教材・機材を生かした授業のあり方を追求することをテーマに、学校放送番組や自作ビデオ、そして視聴覚機器を利用した授業実践や校内放送の実践など様々な報告がなされた。

本年度は、パソコンを活用した実践がさらに増え、パソコン利用の関心の高さを示した。また、ビデオフロッピーレコーダーを授業に取り入れ効果をあげたレポートも多く見られた。さらに、授業で生かせる自作ビデオの制作とその活用についての報告も数多くあり、授業に対する先生方の熱意がうかがわれる。

助言者の石積先生(豊橋・羽根井小長)より、「教材や機材の特性をじゅうぶん生かした授業を工夫する」。「パソコンを使った授業であっても、つねに人間を育てるということ忘れてはいけない」との助言をいただいた。

さらに、レポート一つひとつにこ  
と細かにご指導いただき、今後の  
実践の指針となった。



## ライブラリーだより

新規購入16ミリ映画フィルム紹介(社会教育)

作品名「新しいおふくろの味」 B140 27分

昔からの家庭料理が、健康的な生活をささえるうえで、わめて有効であることを、食物繊維を一つの例に取り上げながら、「新しいおふくろの味」を考えて、日常生活に生かそうとする、ある家庭の様子を描いた作品です。また、食物繊維とは何か、その性質、効用、そして、これを含む食品は何か、などの疑問を、この映画は解決してくれます。

租税用教育映画ビデオ版(VHS)

『ぼくたちの探険 — 税の働き —』



岡崎税務署から、租税用教育映画のビデオテープ(VHS)をお送りしていただきました。東京近郊のある中学校の生徒が租税について興味を持ち、さらに自分たちで調べていく様子を描いた作品です。

中学校の社会科の授業等での利用をはじめ、一般の方々が租税についての知識等を得る上でも参考になるものです。

ライブラリーに保管して、貸出しを行っておりますのでご利用下さい。